

## 学科・専攻の概要

### 1. 教育計画

学期（二期制）	登校日数・長期休み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期：4月1日～9月30日</li> <li>・後期：10月1日～3月31日</li> </ul>	登校日数：200日 夏期：7月31日～9月1日 冬期：12月21日～1月5日 学期末：3月1日～3月19日
成績評価の基準と方法	
<p>成績については、各授業科目において、各学生の成績評価を百点満点で点数化する。</p> <p>学期終了後、各学生について、各授業科目の点数を合計し、履修すべき授業科目数で除して得た点数（少数以下2位）を各学生の当学期の総合成績評価とする。</p> <p>成績の分布状況については、半期毎に通知する成績表に対象学科における「平均点」を記載しており、学生本人は、成績がどの位置にあるのかを把握することができる。</p> <p>年間の成績評価については、試験結果など元にして、次のように評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・90点～100点 秀（※2018年度入学生から）</li> <li>・80点～89点 優</li> <li>・70点～79点 良</li> <li>・60点～69点 可</li> <li>・59点～0点 不可</li> </ul>	
進級・卒業要件	
<p>卒業の認定は、次の要件を満たすことが必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学科ごとに定められた所定の年限以上在籍すること</li> <li>②学科ごとに定められた所定の科目を履修すること</li> </ul> <p>①については主に出席状況、②については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠および成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ問題がある場合適宜フォローをおこないながら進級指導する。卒業年度末には「卒業認定会議」を実施し、①②の卒業要件を満たしているか、最終判断をおこなう。</p>	

### 2. 取得実績のある資格

団体	資格名
経済産業省	ネットワークスペシャリスト試験 データベーススペシャリスト試験 情報処理安全確保支援士試験 応用情報技術者試験 基本情報技術者試験 ITパスポート試験 情報セキュリティマネジメント試験

専修学校教育振興会	情報検定（J検定） ビジネス能力検定（B検定）
画像情報教育振興協会	CGクリエイター試験 CGエンジニア試験 マルチメディア検定試験
ヤマハ	ヤマハネットワーク技術者認定試験
オラクル	オラクルマスター試験 Java プログラマ試験
SEA/J	SEA/J 情報セキュリティ技術認定試験
マイクロソフト	オフィス・スペシャリスト
Python ソフトウェア財団	Python 試験
CompTIA JAPAN	CompTIA 認定試験（Net+、A+）
日本医療教育財団	医療事務技能審査試験 医師事務作業補助技能認定 医事オペレータ技能認定
日本商工会議所	簿記検定試験、販売士検定試験
東京商工会議所	ビジネス実務法務検定試験
実務能力検定協会	秘書検定試験
	高等学校教諭一種免許状「情報」「商業」「数学」

### 3. 学科・専攻とカリキュラム

#### ①大学併修科

<b>学科の目的 特徴</b>		各種の情報処理技術を駆使し、データを分析・加工して経営に反映できる能力を持つ高度情報処理技術者を育成します。また、経営部門に対して情報技術を活用した戦略的な提案をおこない、経営戦略システムを構築していく技術も合わせて習得します。北海道情報大学通信教育部にも同時に在籍し、経営情報学の学士号を取得できます。			
<b>修業年限</b>	<b>総定員数</b>	<b>専門士</b>		<b>高度専門士</b>	
4年(昼)	120名	-		平成17年文部科学大臣告示170号	
<b>卒業に必要な 総授業時間数</b>		<b>講義科目</b>	<b>演習科目</b>	<b>実習科目</b>	
3,900時間		2,730時間	200時間	970時間	
<b>実施科目 (抜粋)</b>		1年	ITの職業と情報倫理、IT戦略とマネジメント、ハードウェア、システムとソフトウェア、ネットワークとセキュリティ、データとアルゴリズム、アルゴリズム、システム開発と情報戦略、経営学への招待、JAVA、ビジネスソフト活用1、HTMLとCSS、ゲームプランニング、デザイン理論 等		
		2年	セキュリティ応用、ヒューマンインタフェース論、オペレーティングシステム基礎論、マーケティング論、オラクルSQL、Linux、SQL実習、アニメーション技法、モデリング基礎、プログラミング基礎 等		
		3年	プロジェクト管理、オブジェクト指向開発、システムデザイン、JAVA応用、会計基礎、ロジカルシンキング、システム設計演習、就職対策 等		
		4年	問題解決技法、企画と提案、テストと導入・移行、JavaScript、JAVA実践、Python実践、就職対策、卒業研究 等		
<b>目標資格</b>		情報処理安全確保支援士試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、オラクルマスター、オラクル認定 Java プログラマ、マイクロソフトオフィススペシャリスト、ヤマハネットワーク技術者認定試験、情報検定(J検)、マルチメディア検定、高等学校教諭一種免許状「情報」「商業」「数学」 など			

②情報マルチメディア専門科

<p>学科の目的 特徴</p>		<p>情報システムの分析から設計・開発・試験・運用に至る一連のライフサイクルに 関与できるシステムエンジニアを育成します。また、ユーザとの折衝等において 中心的役割を担うプロジェクトリーダ的な要素も併せて習得します。 ゲーム・CG分野においては、マルチメディアコンテンツ制作を企画段階から担 当し、画像・音声・映像など各部門の担当者に的確に指示できる力を持つマルチ メディア技術者を育成します。</p>				
<p>修業年限</p>	<p>総定員数</p>	<p>専門士</p>		<p>高度専門士</p>		
<p>3年(昼)</p>	<p>120名</p>	<p>平成17年文部科学大臣告示32号</p>		<p>-</p>		
<p>卒業に必要な 総授業時間数</p>		<p>講義科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>実習科目</p>		
<p>3,360時間</p>		<p>2,130時間</p>	<p>380時間</p>	<p>850時間</p>		
<p>実施科目 (抜粋)</p>		<p>1年</p>	<p>ITの職業と情報倫理、IT戦略とマネジメント、ハードウェア、システムとソフト ウェア、ネットワークとセキュリティ、データとアルゴリズム、アルゴリズム ム、システム開発と情報戦略、JAVA、ビジネスソフト活用1、SEA/J基 礎、C言語、デザイン理論、デザイン実践、ゲームプランニング 等</p>			
		<p>2年</p>	<p>セキュリティ応用、ヒューマンインタフェース論、JAVA2、オブジェクト指向 プログラミング、Linux、テクニカルライティング、オラクルSQL、AIの活用 と開発手法、AIプログラミング基礎、ネットワーク応用2、、マルチメディア 技術、アニメーション技法、モデリング基礎、ゲームプランニング応用、ゲ ームビジネス、就職対策 等</p>			
		<p>3年</p>	<p>プロジェクト管理、ヒューマンスキル2、JAVA応用、機械学習、AIプログラ ミング、実践システム開発演習、ゲームプログラミングIV、ゲーム構築総 合演習、CM制作、就職対策、卒業研究 等</p>			
<p>目標資格</p>		<p>情報処理安全確保支援士試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペ シャリスト試験、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネ ジメント試験、オラクルマスター、オラクル認定Javaプログラマ、SEA/J認定資格、 Python試験、マイクロソフトオフィススペシャリスト、ヤマハネットワーク技術者認 定試験、情報検定(J 検)、マルチメディア検定、CGエンジニア検定、CGクリエイタ ー検定 など</p>				

③情報マルチメディア科

<p>学科の目的 特徴</p>		<p>情報システムの設計・開発・試験において中心的な役割を担う初級システムエンジニア・プログラマを育成します。また、エンドユーザ部門においては、情報化のリーダーとして指導・育成を担うアドミニストレータとして活躍できます。 ゲーム・CG分野においては、マルチメディアコンテンツ制作に必要な各デジタル素材の特性を理解し、その加工・編集の技術を持つマルチメディア技術者を育成します。</p>			
<p>修業年限</p>	<p>総定員数</p>	<p>専門士</p>		<p>高度専門士</p>	
<p>2年(昼)</p>	<p>80名</p>	<p>平成16年文部科学大臣告示23号</p>		<p>-</p>	
<p>卒業に必要な 総授業時間数</p>		<p>講義科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>実習科目</p>	
<p>2,220時間</p>		<p>1,400時間</p>	<p>210時間</p>	<p>610時間</p>	
<p>実施科目 (抜粋)</p>		<p>1年</p>	<p>ITの職業と情報倫理、IT戦略とマネジメント、ハードウェア、システムとソフトウェア、ネットワークとセキュリティ、データとアルゴリズム、アルゴリズム、システム開発と情報戦略、JAVA、ビジネスソフト活用1、SEA/J基礎、C言語、デザイン理論、デザイン実践、ゲームプランニング 等</p>		
		<p>2年</p>	<p>セキュリティ応用、ヒューマンインタフェース論、JAVA2、オブジェクト指向プログラミング、Linux、テクニカルライティング、オラクルSQL、AIの活用と開発手法、AIプログラミング基礎、ネットワーク応用2、マルチメディア技術、アニメーション技法、モデリング基礎、ゲームプランニング応用、ゲームビジネス、就職対策 等</p>		
<p>目標資格</p>		<p>応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、オラクルマスター、SEA/J認定資格、マイクロソフトオフィススペシャリスト、ヤマハネットワーク技術者認定試験、情報検定(J検)、マルチメディア検定、CGエンジニア検定、CGクリエイター検定 など</p>			

④情報ビジネス科

<p>学科の目的 特徴</p>		<p>ビジネス専攻では、企業活動において、パソコンやビジネスソフトの活用技術を持つオフィス事務職やエンドユーザコンピューティング（EUC）のための基礎知識を持ち情報化の責任者となるシステムアドミニストレータを育成します。 医療専攻では、病院などの医療機関において、事務部門や受付部門で必要なビジネスマナーや診療報酬請求事務知識を習得した医療事務スタッフを育成します。</p>			
<p>修業年限</p>	<p>総定員数</p>	<p>専門士</p>		<p>高度専門士</p>	
<p>2年(昼)</p>	<p>40名</p>	<p>平成14年文部科学大臣告示19号</p>		<p>-</p>	
<p>卒業に必要な 総授業時間数</p>		<p>講義科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>実習科目</p>	
<p>2,220時間</p>		<p>1,330時間</p>	<p>220時間</p>	<p>670時間</p>	
<p>実施科目 (抜粋)</p>		<p>1年</p>	<p>ITの職業と情報倫理、IT戦略とマネジメント、ビジネス秘書概論、ビジネス概論、Word実習、Excel実習、簿記会計基礎、簿記会計応用、VBA実習基礎、ビジネスマナーと文書技法、ビジネス実務活用、医療事務基礎、医療事務実務、医事オペレータ、就職活動指導 等</p>		
		<p>2年</p>	<p>コミュニケーションスキル、プレゼンテーション演習、Webデザイン実践、セキュリティ応用、ビジネス情報管理、デザインワーク実習、実務総合演習、医師事務作業補助、就職対策、卒業研究 等</p>		
<p>目標資格</p>		<p>基本情報技術者試験、ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、ビジネス能力検定、日商簿記検定、日商販売士検定、ビジネス実務法務検定試験、秘書検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト[Word][Excel][PowerPoint][Access]、情報検定(J検)、医療事務技能審査、医事オペレータ技能認定、医師事務作業補助技能認定 など</p>			

#### 4. 就職率、卒業後の進路

就職率	99.0%	※2023年3月卒業生実績
主な就職先	<p>(医)博愛会病院、(医)大分こども病院、(株)ATTS、(株)e-Front、(株)青山、(株)クエスト、(株)コメリ、(株)住理工九州、(株)ネットサポート、(株)平山、(株)ホックス、(株)共立ソリューションズ、(株)DMG コミュニケーションズ、(株)I I Jプロテック、(株)KSソリューションズ、(株)SCC、(株)TBC、(株)アルプスビジネスサービス、(株)ウイズオノウェア、(株)ウイズユニティ、(株)エイ・エス・ティ、(株)エイジェック、(株)エフアイティーシステム、(株)オーイーシー、(株)オーディーシー、(株)クリーブ、(株)ケイティーエス、(株)コア・クリエイイトシステム、(株)ザイナス、(株)サカイ引越センター、(株)システムトレンド、(株)ゼロクローバー、(株)ダイキエンジニアリング、(株)ニチイ学館、(株)ファーストロジック、(株)プロシード、(株)ホームインプルーブメントひろせ、(株)メイテックフィルダーズ、(株)ユビキタステクノロジー、(株)ワールドインテック、(株)ワイドレジャー、(株)京屋サンティー、(株)松村硝子店、(株)新鮮マーケット、(株)電子工学センター、eBASE-PLUS (株)NTTデータカスタマサービステクノロジー(株)、SCSK ニアショアシステムズ(株)TDC ソフト(株)、イー・アンド・エム(株)、イーストライズ(株)、シスメックスCNA(株)、セントラルソフト(株)、ソフトリンク(株)、電子開発学園、TOPPANエッジITソリューション(株)、宇宙技術開発(株)、三菱商事太陽(株)、司コンピュータ(株)、大交ソリューションズ(株)、大分ダイハツ販売(株)、大分三菱自動車販売(株)、日研トータルソーシング(株)、日本システムウェア(株)、富士ソフト(株)、富士フィルムBI大分(株)、富士通エフサス太陽(株)など</p>	